

骨密度測定



当院では骨粗鬆症診断装置
[ダイクロマスキャン DCS-
600EXV]を導入して骨量を測

定しています。



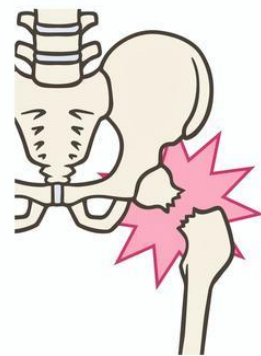
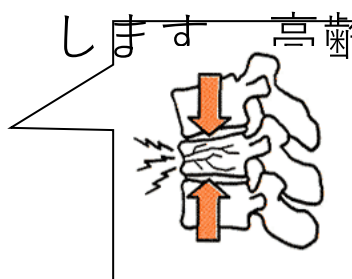
高齢化に伴い骨粗鬆症の患者さんは
増加しており、我が国には現在約
1300万人もの患者さんがいます。

骨粗鬆症から骨折、寝たきりとなる可能性があり、早
期診断、早期治療が重要と思います。

当院ではD X A法（精度が高い！）の機械を導入
して骨量を測定しています。



前腕で測定するもの
座ったままで測定時
は 20 秒くらいで終
しまし 高齢者は年

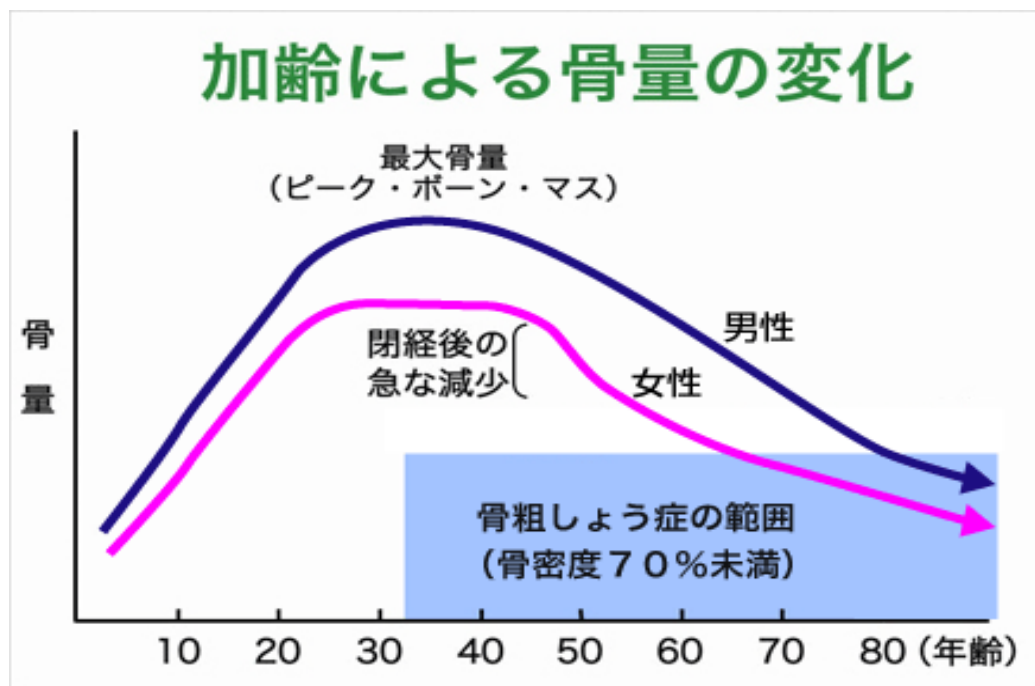


で、
間
了
に

骨密度測定

1~2回はチェックされるといいと思います。

若いころの70%以下に骨量が減少すると、骨折の危険があります。



20~44歳が骨量のピークですが、これと比べて

骨密度測定

骨量が 80%以下になると骨量減少（要注意）、70%以下では骨粗鬆症と診断されます。閉経後から女性は骨量が急速に低下し、50 歳後半では 20%弱、80 歳以上では 50%の女性が骨粗鬆症です。男性でも年齢とともに骨量は減少し、80 歳以上では 30%弱が骨粗鬆症です。